



西横野小通信

学校教育目標 「学ぶ子」「助け合う子」「元気な子」

第21号

令和2年10月1日

発行責任者 萩原 宏明

TEL 393-1127

心を一つに がんばったことを 次へ

ダンス等発表会の日の午後、全校で閉会式と解団式を行いました。

今年度の優勝は赤城団（285点）、準優勝は妙義団（284点）、なんと1点差！、第3位は榛名団（245点）でした。解団式では、6年生から団の全員に対して、「心を一つにして頑張れた」「元気に楽しくできた」「来年は絶対優勝して」などなど、しっかりと思いを伝えました。

6年生は、早くから休み時間などの自分の時間を使い、団の旗を描いたり、応援合戦の内容を考えたり、係の仕事を確認したり、率先して準備や後片付けをしたり…。それはそれは、立派な6年生でした。最高学年として、正に学校の顔として頑張ってくれました。下級生にも、そんな6年生のような姿を目指してほしいと思います。



今回、全校で頑張ったりやり遂げたダンス等発表会。友達と一緒に練習したり、競ったり、下級生や上級生と協力したりした経験は、学校行事を通してこそその経験です。自分自身が頑張れたことをしっかり振り返り、自信につなげていってほしいものです。

一ヶ月後は、持久走大会を計画しています。来週以降、休み時間の練習も始まります。私は持久走大会（昔はマラソン大会）が好きではありませんでした。次の電柱まで、次のカーブまで、と、走りながら次々に目標を決めて走っていたのを覚えています。



心と体を鍛える持久走です。速く走れることもよいことですが、諦めてスピードを緩めたり止まったりしたくなくなってしまう自分に勝つことが大切です。ご家庭でも、ぜひ励ましてあげてください。

読書の秋～心や頭を育てる～

朝晩はすっかり涼しくなり、過ごしやすい季節になりました。秋は、なんとなく落ち着きます。

この季節、子どもたちには本を読んでほしいなと思っています。純粋に本の中の世界に浸るのが楽しいのですが、読書や読み聞かせには、たくさんの効果があると言われています。例えば…、

- 気持ちが落ち着いて穏やかになる
- 想像力が豊かになる
- 集中が長続きするようになる

- コミュニケーションスキルが高くなる
- 自己肯定感が高くなる
- 語彙力や読解力が鍛えられる

どの学校にも図書室があるのは、そのためです。

本の中の文字や絵、声から、お話の筋や場面、登場人物の気持ちなどを想像する（思い描く）ことが必要なのが、読書や読み聞かせです。

テレビのように受け身ではなく、子どもたち自身が本の世界に働きかけるところに大きな価値があると思います。